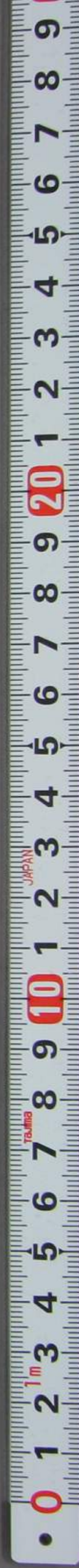




前橋商業會議所

製絲原料資金之件ニ付建議

2775





114  
A 3536



製絲原料資金之件ニ付建議

源タルコト今復々多言ヲ要セス斯業ノ盛衰ハ實ニ國富  
消長ノ係ル所ナリ近口閩ク横濱生糸高ハ蠶糸貿易ニ  
関スル資金ノ件ニ付陳情書ヲ提出セリト是レ我カ貿  
易振興上最モ緊急ナルモノトシテ大ニ同情ヲ表スルト  
共ニ前橋商業會議所ハ更ニ進テ製糸ノ原料タル生蠶  
ニ向ヒ特ニ金融ノ利便ヲ与ヘラレンコトヲ切望スル者ナ  
リ請フ迄ニ製糸業者カ資金運轉ノ方法及其ノ困  
難トスル所ノ状況ヲ敘述シ併セテ所見ヲ披陳セン  
前橋地方ハ主トシテ製糸ノ業ニ従事シ養蠶ノ如キハ只  
僅カニ其ノ成繭ヲ以テ自家ノ用料ニ充ツルニ止マリ他ニ供

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄贈



給スルノ餘地ヲ有セス故ニ成繭ノ時期ニ到レハ各製糸家ハ  
争フテ養蠶地方ニ派出シ若クハ各地ヨリ輸入スルモノヲ購  
買シテ原料ニ供スルヲ例トス然レトモ製糸家タル平常巨  
萬ノ資金ヲ貯ヘテ此際自在ニ運轉スルノ餘裕アル者ハ甚  
タ少レニシテ多クハ他ニ融通ヲ仰ク者ナルヲ以テ彼ノ購買  
セル生繭ハ直キニ地方ノ銀行ニ抵當ト爲シ之ニ由テ資金  
ヲ借入レ救次斯ノ如クシテ轉々流用以テ製糸季節間  
ノ需用ヲ充タスハ例歳ノ常態ナリトス故ニ金融ノ逼迫  
利子ノ昂騰昨今ノ如ク甚タシキニ遭フトキハ忽チ非常中ノ  
困難ヲ来タスヘキハ勢ノ賄易キ所ナリ今マ其ノ實況ヲ詳  
述センカ從來我カ前橋ニハ上毛倉庫會社ナルモノアリテ  
繭絲米麦等ノ重要物品ノ保管預リヲ爲シ特ニ生繭ニ

至テハ乾燥室ノ設ケアリテ完全ナル乾燥法ヲ施コシ然ル  
後其ノ保管品ニハ相當ノ保險ヲ附シ保管券ヲ交付ス斯  
クテ荷主ハ其ノ保管券ヲ以テ同地ノ銀行ニ割引ヲ依頼シ  
資金ノ融通ヲ得ル是レ殆ント一般ニ行ハル、所ノ方法ナリ而  
シテ銀行ニ於テモ亦タ其ノ保管券ハ最モ安全ナル信用  
證券トシテ取扱ヒ可及的便利ヲ与ヘンコトヲ努ムト虽モ彼  
等モ亦タ一個ノ営利業者タル以上ハ普通以外ノ低利ヲ  
以テ供給スル能ハサルノミナラス限リアルノ運轉資金ヲ以  
テ限リ無キノ需用ニ應セントセハ勢ヒ金融ノ逼迫ヲ来タサ  
サルヲ得スシテ從テ利子ノ昂騰ヲ致スハ需給ノ原則ニ於  
テ免カレ難キ所トス此際若シ銀行ニシテ特ニ充分ノ次具  
本ヲ貯ヘ低利ヲ以テ供給スルノ準備ヲ有スルアランニハ生繭



ノ仕入高何程ノ巨額ニ上リ倉庫ニ堆積スルモ運轉流用最モ  
敏活ニ行ハレ製糸家ハ能ク低價ナル原料ヲ以テ營業スルヲ  
得ヘクシテ生産力大ニ増加スヘキモ事實然ル能ハサルモノアル  
ハ當業者ノ常ニ困難トスル所ナリ

斯ノ如ク製糸家ハ高價ナル原料ヲ以テ其業ヲ営ミツ、マルニ近  
年物價ノ暴騰ハ更ニ生産費ヲシテ數割ノ高價ニ至ラシメタリ  
故ニ其ノ原料カ生糸ト為テ横濱ニ輸送セラレ漸ク賣込ヲ為  
スニ至ル迄ニハ既ニ幾重ノ利子ヲ負擔スルモノニシテ縦ヒ相當  
ノ價格ヲ以テ賣却スルモ收支ヲ計算スレハ尚且ツ餘分ノ利益  
ヲ得ル能ハス殊ニ一朝外國市場ノ不振ニ遭遇シ糸價頓ニ低  
落シテ荷為替金額以下ニ降ルノ曉ニハ糸荷ハ空シク向屋ノ  
庫中ニ停滯シ坐カラ金利ヲ累重セシムルモノト為ル而シテ一

面ニ於テハ原料ノ次貸金ニ借入タル利子日ニ嵩ミ督促嚴  
急竟ニ久シキニ耐ヘスシテ投賣ヲ試ムルニ至ルコトアリ然レト  
モ横濱市況ノ如何ニ由リ其ノ高勢ニ浮沈アルハ所謂几時ノ  
相場ニシテ已ムヲ得サル事情ナリト虽モ原料ニ對スル金融  
ノ逼迫利子ノ昂騰ニ至テハ製糸家ノ第一着ニ困難ヲ  
感スル所ニシテ而カモ能ク人為ヲ以テ之ヲ救済スルヲ得  
ヘキモノナレハ進テ其策ヲ講スルハ豈今日ノ急務ナラスヤ  
若シ然ラスシテ此ノ收勢ニ放任スルトキハ其ノ生産力漸次  
ニ減退シ終ニハ本邦ノ一大富源ヲ涸竭セシムルニ至ラン是レ  
獨リ當業者ノ不幸ノミナラス國家經濟ノ點ヨリ見ルモ頗  
フル憂慮スヘキモノトス

止未所陳ノ狀況ナルヲ以テ此際政府ハ宜シク日本銀行ヲシ



テ低利ノ金ヲ生産地ノ銀行ニ融通セシメ其ノ銀行ハ此ノ低  
利ノ金ヲ元資トシテ生繭ニ對スル金融ヲ圓滑緩和ナラシム  
ヘシ是誠ニ産業奨励ノ策トシテ今日ニ適切ノモノタルヲ信  
スルナリ願クハ採納セラレンコトヲ

右本會議所ノ決議ニ據リ建議仕候也

明治三十一年九月十七日



前橋商業會議所

會頭 江原芳平



內閣總理大臣大隈重信殿



